

白老のすみずみまで大冒険

仙台陣屋版

「館長とまち歩き講座」の第8回目が虎杖浜地区で行われ、観音寺・虎杖浜神社・アヨロ台地・アヨロ鼻灯台・ボンアヨロ観音堂などを訪ね歩きました。講師の高橋淳一さん



によると、「白老は45ヶ所の遺跡が知られていますが、その内半分ほどは虎杖浜から発掘されたもの。虎杖浜は遺跡の産地としても有名。「付近で出土した木炭をアメリカ・ミシガン大学に鑑定してもらったところ7,700年前のものと判明した」と説明していました。



虎杖浜に縄文の歴史あり。ロマンがありますね。

第9回は白老の東部地区で開催。ボラナイ観音遺跡やインクラの滝、ヨコスト海岸から旧体験館森野までのバスツアーを実施しました。観音遺跡の岩屋は昔、アイヌ民

第137号

(平成29年10月号)

発行: 仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

< 第8回目のボンアヨロ海岸 (上)

第9回目のボラナイ観音遺跡 (下) >

族も狩猟キャンプで使っていたため、鹿の骨もたくさん発掘されています。山間にあるため、白老で暮らしていても中々見る機会がない、貴重な遺跡です。

第10回目では食育防災センターや萩の里自然公園・飛生アートコミュニティ・大湯沼川天然足湯・倶多楽湖・アフルパロなどを巡る、大容量のツアーとなりました。

アフルパロは「あの世への入り口」と伝えられる場所で、白老と登別では形が違います。登別の伝承地は小高い山の上の播鉢状になった窪地ですが、白老の伝承地は切り立った海岸の壁面に空いた岩穴です。アイヌの人々の世界観に触れられる場所なので、これからも大切に守っていききたいですね。

今年度の「館長とまち歩き」では総勢179人にご参加いただきました。白老の隅から隅まで、楽しんでもらえたら幸いです。これからも皆さんと一緒に、白老の魅力を再発見していきたいですね。よろしく
お願いします。

< 第10回目の萩の里自然公園(上)

アフルパロ 近くの海で (下)



白老東高校が見学

9月12日(火)、白老東高校の1年生が資料館見学へ訪れ、高校の授業には登場しない歴史の話に、真剣な表情で耳を傾けてくれました。あいにくの大雨で、予定していた史跡の散策も十分に行えませんでした。興味を持つ切っ掛けになったなら幸いです。

来年は北海道の名が決まってから150周年の節目。資料館に関係する話を耳にする機会が増えることでしょう。町内にお住まいであれば無料ですので、気軽に訪れて下さい。

7月29日から9月3日まで開催されていた、「迷子の動物たちを見つけて出す」クイズラリーが閉幕しました。ご参加いただいた方々、ありがとうございます。大人から子供まで、楽しみながら資料と触れ合う機会となったのではないのでしょうか。これを切っ掛けに、侍たちの歴史に興味を持ってもらえたら幸いです。

全問正解された方の中から、抽選で素敵なアイヌ文様入りストラップなどを差し上げます。次回の企画もお楽しみに!!

クイズラリーにご参加ありがとうございました!



<熱心に資料館を見学する白老東高校の生徒たち>



資料館の幟旗が新しくなりました!



資料館で解説ボランティアをされている「せんだいはんしろおいちとじんやしりょうかんとち仙台藩白老元陣屋資料館友の会」の皆さんより、8月29日(火)安藤教育長に対し、のぼりはた幟旗15本の寄贈をいただきました。

伊達家の筆頭家紋である「ひつどうかもん竹に雀」をあしらった、紫色が鮮やかな幟旗です。平成17年から販売している、「せんべい赤松」煎餅の売上積立金から購入していただきました。

今年には藩祖政宗公生誕の450周年でもあります。「竹に雀」は政宗公の祖父の代に、上杉家から贈られた紋よりデザインされました。仙台藩の歴史のなかでも由緒ある紋の一つであり、筆頭家紋として今日に知られていますが、その効果にあやかり、より多くの方に資料館を訪れていただければと思います。



<川西政幸会長(中央)と、梶原洋子会員(右)>

発行日:平成29年9月20日(水)
 「仙台陣屋かわら版137号(平29年10月号)」
 発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野・結城
<http://www.town.shiraoki.jp/>
 Mail: jinya@town.shiraoki.jp ☎090-26000